

青森中央学院大学は地産地消エネルギーや道内 2 位の降水量を生かした小水力発電を活用するエコハウスを作り、持ち家を持ちたい登別市内の生産年齢人口の人達に買ってもらうという提言をしました。そうすることで登別市の新しいエネルギー開発に期待ができ、登別市が掲げるゼロカーボンシティ推進や登別市民の家を持ちたいというニーズにも応えられると考えました。



# 働く世代定住への方策

～暮らしたくなる「のぼりべつ」に向かって～

---

青森中央学院大学 チーム山谷

高久航太郎 白戸飛優我 舘山蓮治 船橋誠也 工藤碧士

提言

夢

の

My home

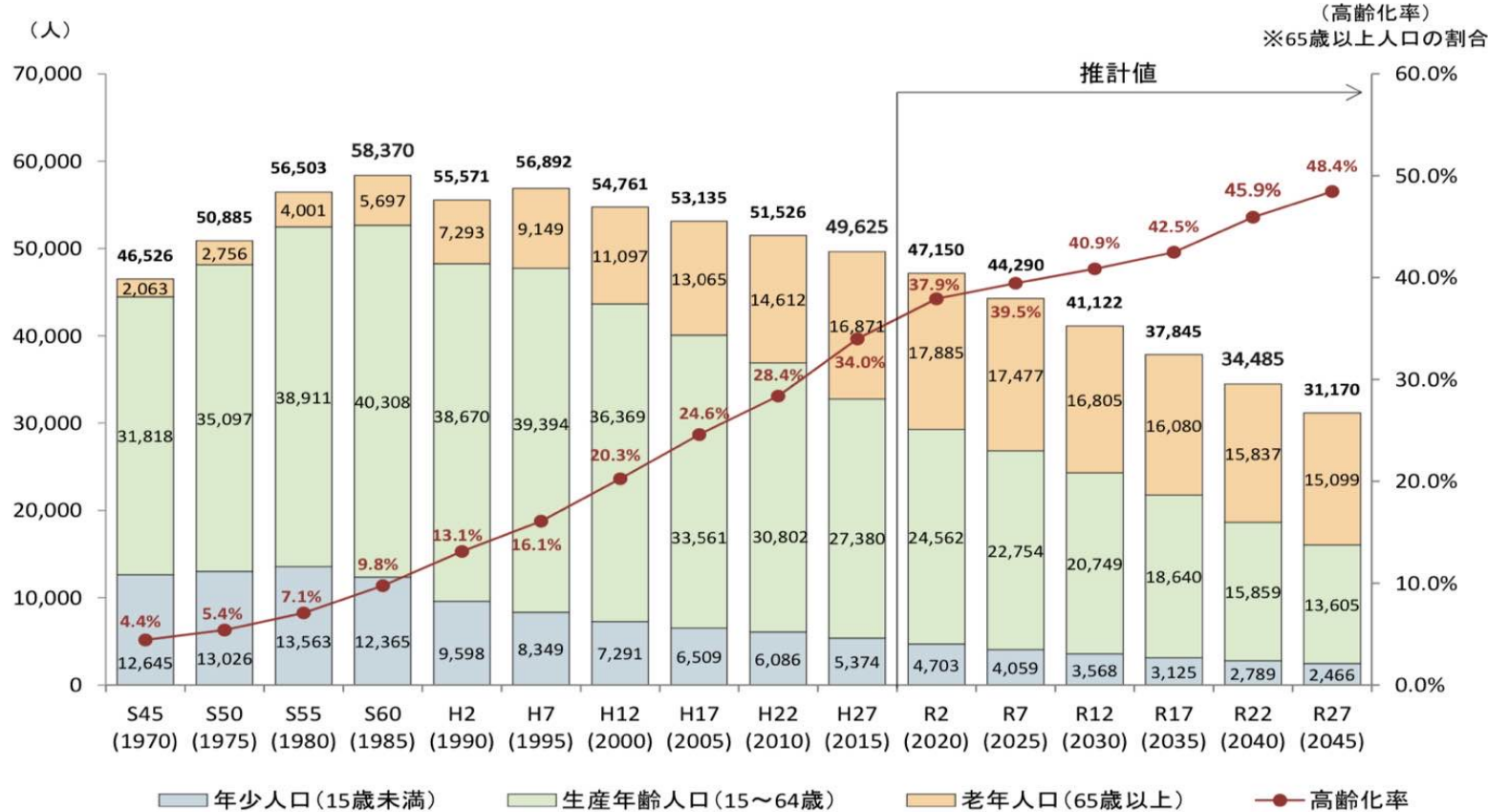
計画

---

登別市の

# 現状

# 登別市の人口減少



総人口の減少



生産年齢人口の減少

最高 約4万人 (1985年)

現在 約2.7万人 (2015年)

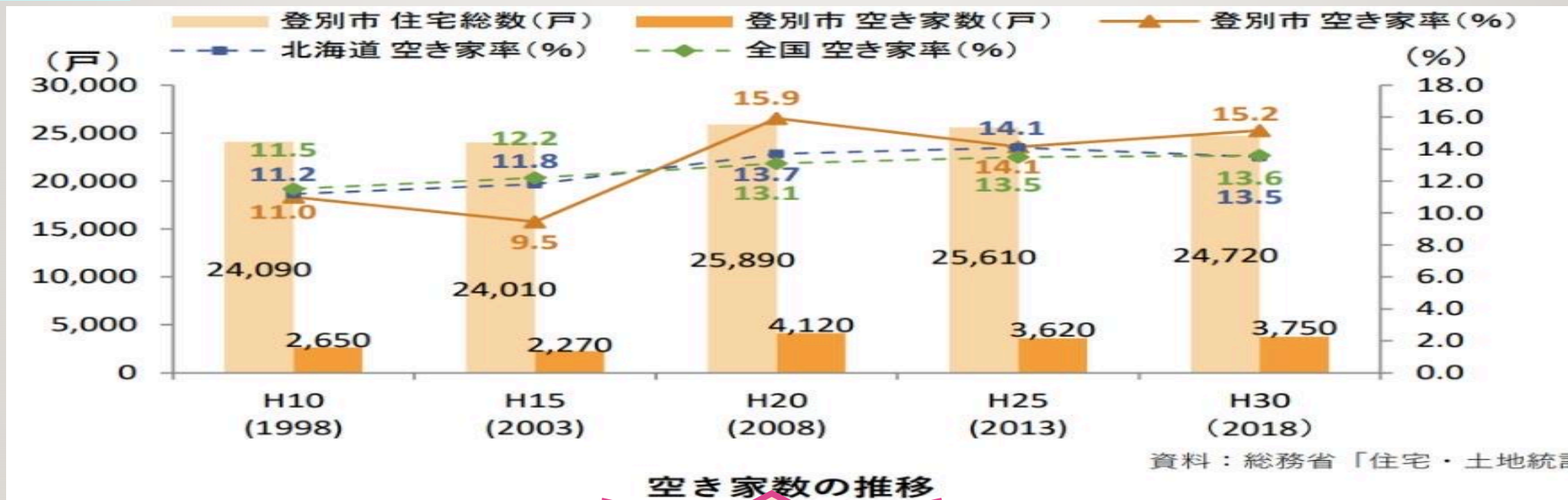
人口の推移と将来推計

※昭和58年(1983年)9月30日時点の人口は59,481人(登別市住民基本台帳人口統計資料より)

登別市都市計画マスタープランより引用

# 現状

# 登別市の空き家数



空き家数の推移

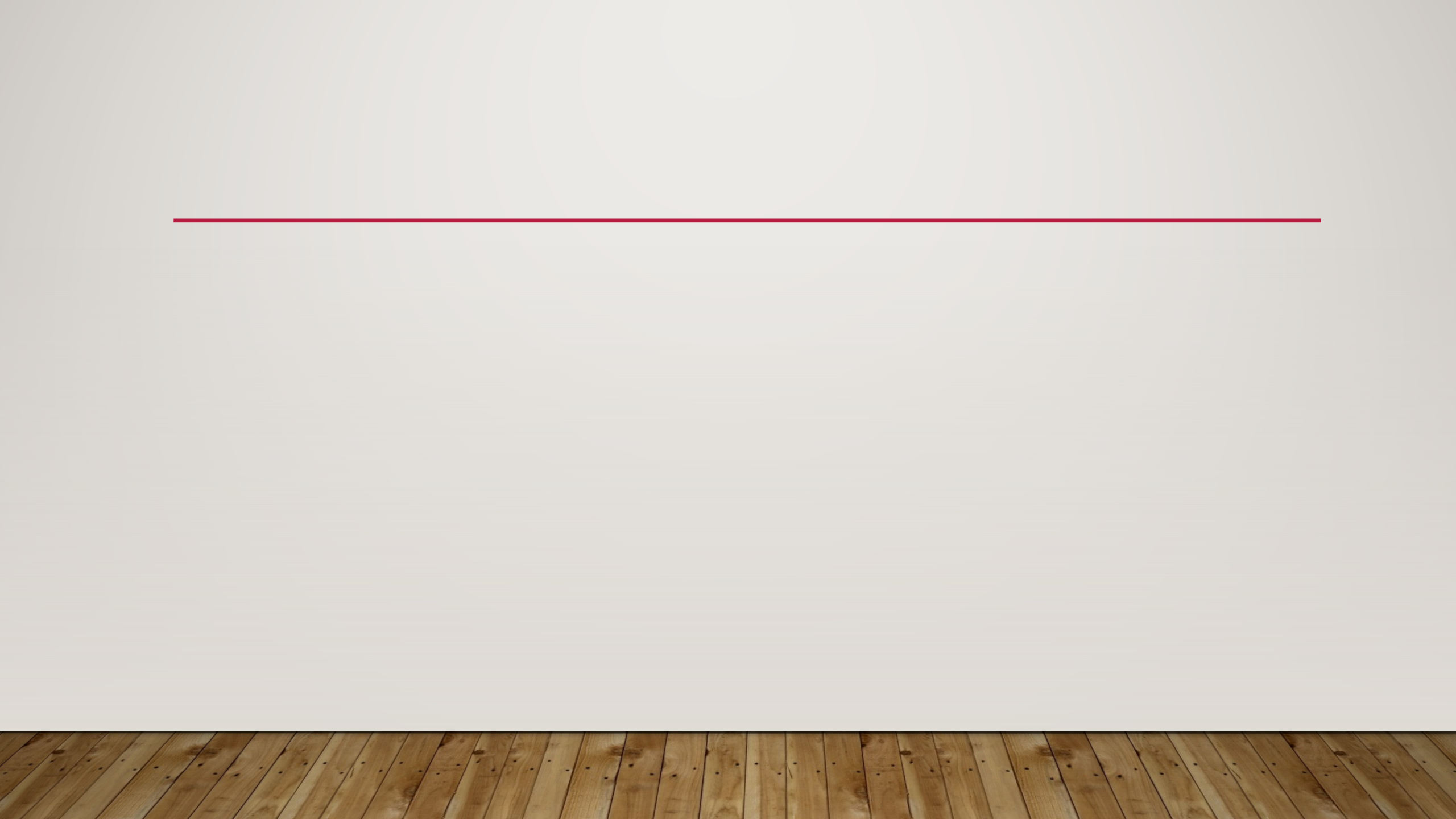
住宅・土地統計調査より引用

空き家リスク

治安の悪化

倒壊による事故

土地が無駄に



東日本大震災後

地産地消エネルギーが注目





# 登別の特色と空き家を融合！

最初に着目したのは,,

- 地熱発電・温泉暖房
  - 温泉地である登別の温泉を活用
  - 電気式と比較して、光熱費が安くなり環境にやさしい
  - 登別市付近の町が活用



# しかし！

---

- 温泉地域ではない市街地への安定供給はできない

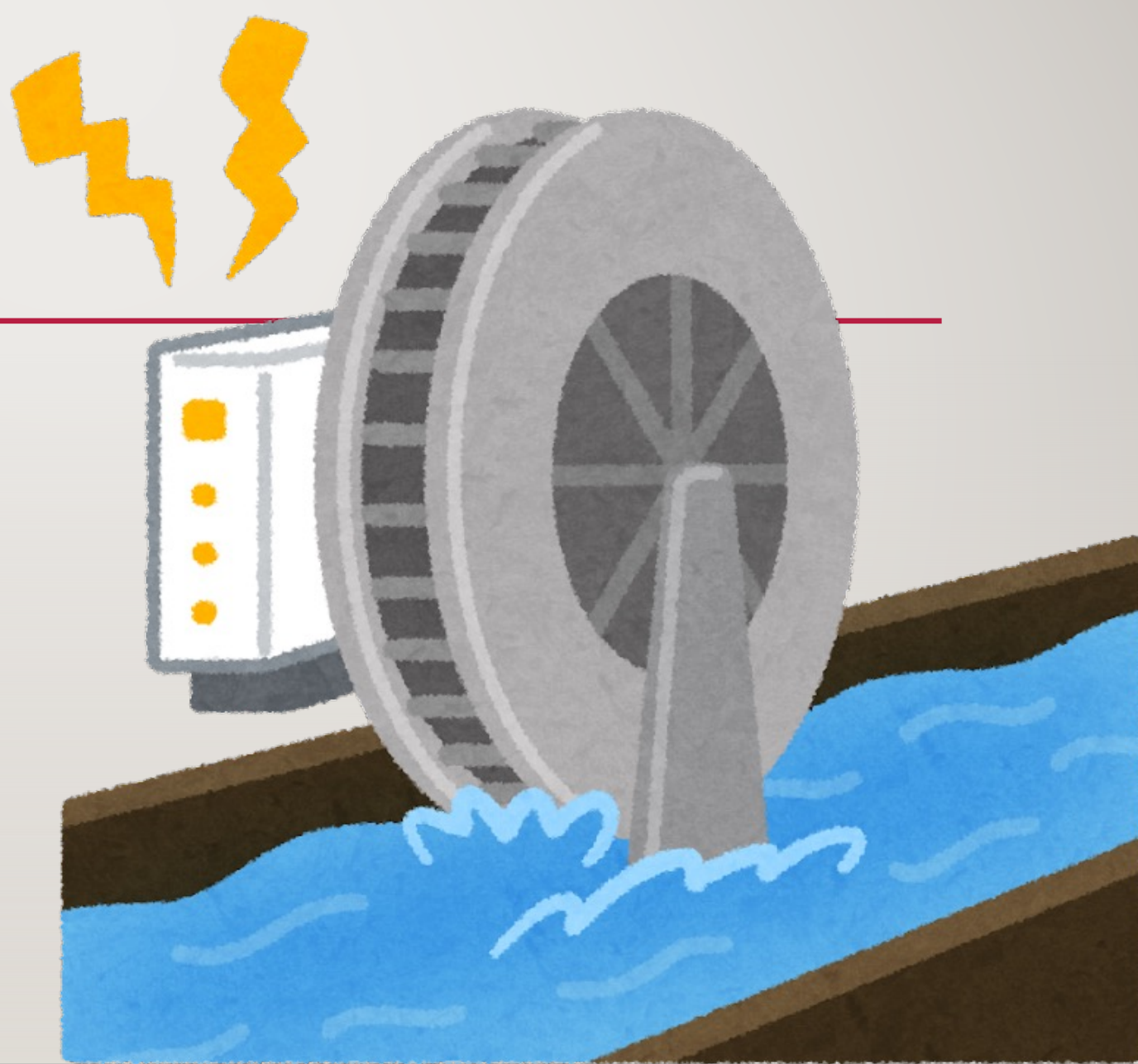


---

そこで...

# 水力発電

---

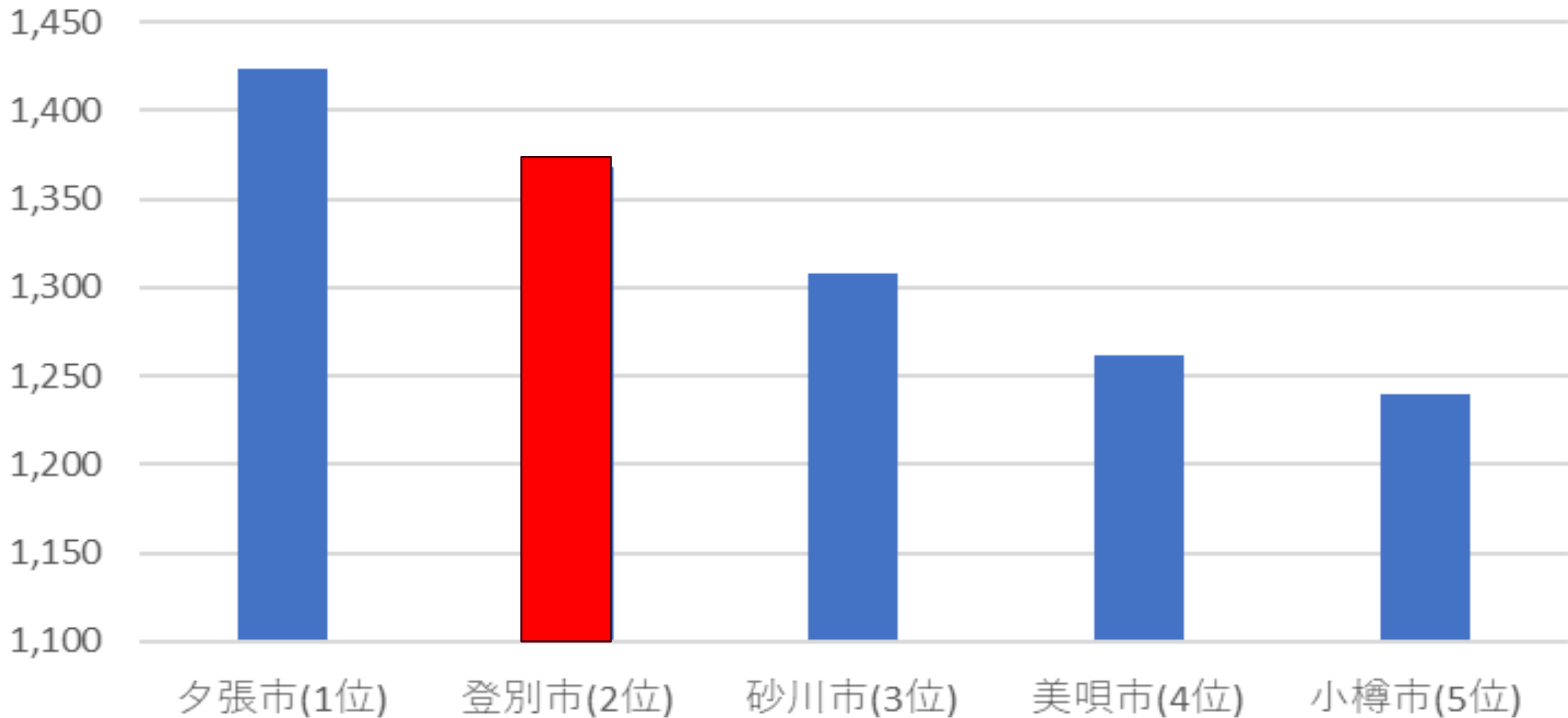


では！なぜ！

---

登別市で水力発電を  
するのでしょうか！！！！

これは何のランキング？



## 水力発電

---

水力発電なら、暮らしやすい市街地でも利用することができる。

# 提言

# 夢のマイホーム計画



## 水力発電、空き家を活用して、マイホーム提供

### 対象

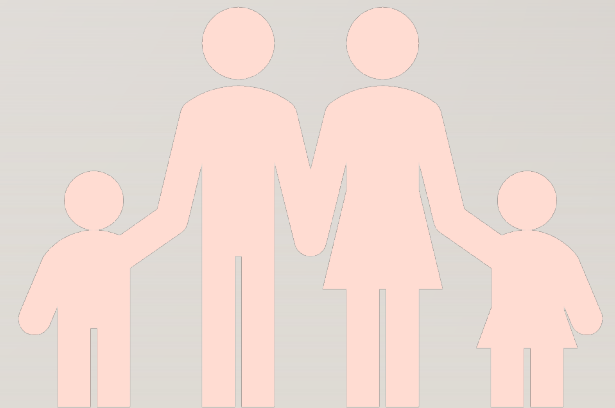
- ・登別市民

### 目的

- ・登別在住の際の金銭問題解消
- ・SDGs、エネルギーの地産地消

### 内容

- ・登別の環境を利用したマイホーム計画





# なぜこの二つに目を付けたのか

---

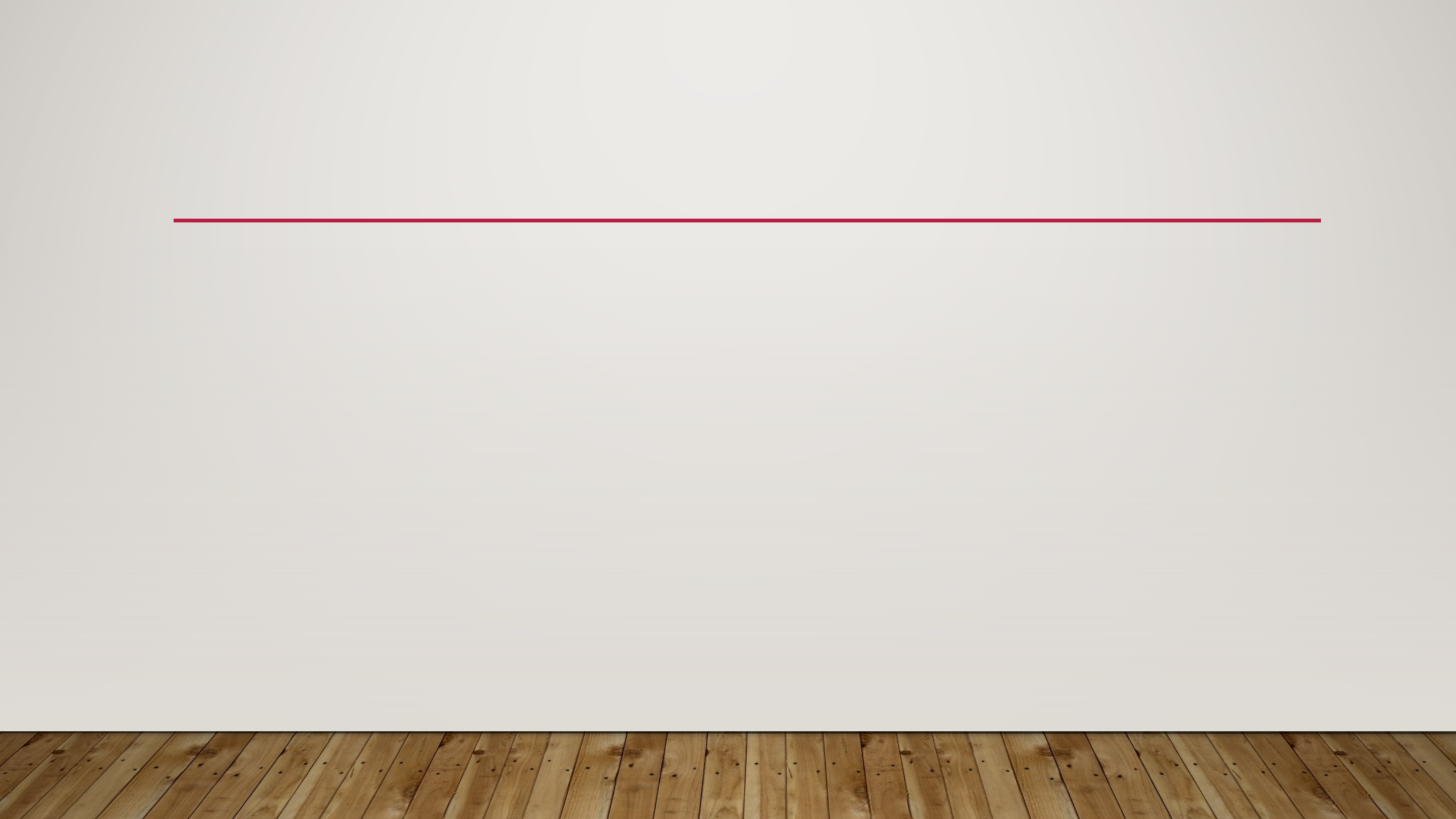
- エネルギーの地産地消
- 空き家リスクの解消



# 登別温泉市街地の空き家利用

---

- 温泉市街はスーパーなどが無く、日用品を揃えることが難しい。
- そこで市街地の空き家に目を付けた
- 暮らしやすい条件には商業施設が必要不可欠であり、近い空き家を借りることで、金額を安く抑えることが可能。
- 水力発電では温泉から離れた市街地でも電力を安く利用することができる。



# 事例1 ごみ発電

---

クリーンセンターでゴミを燃やした時に発生する熱を蒸気に変えタービンを回転させる発電方法としてSDGsに採用されている



一般家庭が1年間に使用する電力に換算すると約4,000世帯分  
クリーンセンター、市立小中学校など周辺の公共施設で利用可



## まとめ

# 私たちの提言の要点

---

- 100%
- 水力発電のできる空き家を提供！
- 地産地消エネルギー
- ノンカーボン・シティーの実現

# 参考文献・参考ウェブサイト

---

• 登別市 (2022)「登別市都市計画マスタープラン」

『<https://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2013042300012/>』最終閲覧日:

- 
- 

• 国土交通省 (令和4年10月)「空き家政策の現状と課題及び 検討の方向性」

『<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001518774.pdf>』

-

ご清聴ありがとうございました！！

